

第33回（平成29年 4月）「工学部学友会」理事会の記録

- (1) 日 時 : 平成29年 4月23日 (日) 13:00～17:00
(2) 場 所 : パナソニックリゾート大阪 第5会議室
(3) 出席者 : 立入会長、国領・奥副会長、安田特別理事、松下代表理事、藤田・内片・山添
谷川・若林・平野・藤浪各理事、(12/17名)
湖風会本部 副会長 松下 恭明氏
(4) 議事内容 (司会；平野理事)
配布資料 ・ 第33回「工学部学友会」理事会開催案内及び議題
・ 平成29年度「工学部学友会」活動計画・実績1704
・ 第29回広報HP小委員会議事録
・ 彦根会談の記録
・ 平成28年度学友会会計報告及び監査報告
・ 大津会場（ピアザ淡海）案内図

1、立入会長の挨拶（要旨）

こんにちは、日曜日でお忙しいなか、お集りいただき有難うございます。

冒頭に紹介させていただきますが、本日は湖風会本部の副会長である松下 恭明さんに来ていただいております。宜しくお願いします。

新年度になって最初の理事会になります。引き続き2年間会長職を務めさせていただきます。皆様のご支援を得て、いろんな活動を進めていきたいと思っております。総会でお示したように5つの大きな活動の目標がありますが、今まで以上に取り組んでいきたい。

同窓会の基本はクラス会にあると思っております。クラス会を通じて湖風会・学友会のPRをして頂いたらありがたいと思っております。役員各位は旧倍のご支援をお願いします。

それでは議題に沿って宜しくご審議下さい。

2、松下 恭明氏（湖風会副会長）の挨拶

S40年化学科卒です。定年を迎えたとき評議員をやっていた関係で母校の同窓会で何かできることは無いかと思ってやってきて10年になります。

この10年が経過してやっと4学部支部が出そろいました。学友会には先輩として他の学部支部の指導をお願いしたい。宜しくお願いします。

3、「工学部学友会」の事業内容について

① 名簿管理について ・ ・ <名簿管理チーム> 国領リダー

本日10:00から名簿管理委員会を開催した。

現状まで、名簿管理委員会では学年幹事の充実を主に活動を進めてきて、県大卒はまだまだであるが、短大卒はほぼ網羅された。が、

第3回総会に際して112名の学年幹事に送付した案内に対する反応は、

- ・ 返信があったクラス数 34/112 (30.4%)
- ・ 総会に出席した幹事 17/112 (15.2%)
- ・ 幹事は欠席であったがクラス員の出席があったクラス 11/112 (9.8%)

であった。また、湖風会本部から学年幹事と重複していない評議員に10周年記念行事の案内がされたが、こちらは、

- ・ 返信があった評議員 57/125 (45.6%)
- ・ 記念行事に出席された評議員 16/125 (12.8%)
- ・ 内 学友会総会にも出席された評議員 7/16 (43.7%) であった。

このような現状で、学年幹事の役割を決めているが浸透していない。

理由として考えられるのは、

- 1、現在学友会側からの働きかけが総会の案内のみである。(情報不足)
- 2、クラス会活動が活発でないクラスは、学年幹事に対応手段がない。
- 3、現役世代は勤務先で重要な役割を担っており同窓会活動に充てる時間的な余裕がなく、活動に関心も持てない。

このような現状を踏まえ、今後下記の方角で取り組んでいきたい。

- 1、学年幹事の選出は県大卒を除き、現状に留める。
- 2、湖風会のクラス会活動の推奨（補助金のPRなど）の啓蒙を行う。
- 3、現役世代には、湖風会情報やクラス会活動情報を元に、学年幹事の交代を模索。
- 4、リタイヤ世代（60～65歳以上）には、湖風会情報やクラス会活動情報を元に、学年幹事の交代を模索するとともに、クラス会開催状況のアンケートの検討。

学年幹事を層別し、各層ごとに具体的な対応策を検討し、委員会として進めていく。

② 「工学部学友会」HPについて・・・<HP維持チーム>山添リター

a) 前回の理事会以降、掲載された記事は、

- ・第32回理事会議事録
- ・H29/4/1付役員名簿、活動組織
- ・S56Cクラス会

b) Facebookを正式に会員間の連絡・情報交流の場として位置付けした。

テスト期間で投稿した概要を説明し、その投稿する項目（会員同志での交流、ミニクラス会、県大との会合・交流、湖風会の行事、会員に参考となる情報など）について説明した。アカウント登録は、簡単にできるので理事会の人で未登録の人は、登録して参加をお願いしたい。現在「湖風会学友会」でアカウント登録しているので使用可能であるが、基本的には個人登録とする。

③ 会員と湖風会及び県大工学部との連携について・・・<連携推進チーム>松下リター

(松下 恭明湖風会副会長から)

a) 湖風会関連報告

1) 10周年記念行事関連

イ) 名簿の発行（サラトに委託）

名簿総数 2,793部、協賛広告 27社 746,800円であった。

会員総数；29,236名、住所判明者；23,460名、物故者；1,450名、不明者；4,326名、判明率；85.2%

名簿に氏名のみ記載はOKだが他の情報は掲載不可という方が1202名、氏名もダメという方が43名、退会したいという方が12名あった。

ロ) 記念誌の発行

印刷部数；3,500部、配布部数；2,893部、在庫；約800部

印刷単価 433円

ハ) シンボルマークの作成

募集に対し、19件応募があり、商標権の調査を経て生活デザイン科の審査で決定した。

ニ) 記念講演・記念式典および懇親会

記念講演は“日本の海底資源” 講師：独立法人海洋開発機構で、参加者129名、

記念式典の出席者は131名、懇親会参加者は105名であった。

ホ) 10周年記念行事収支決算

行 事	収 入	支 出
名簿発行（'@400×1633）	801,800	
記念誌発行	3,000	1,513,944
シンボルマーク作成		152,230
記念式典関連		229,113

記念講演		85,192
祝賀懇親会	300,000	360,000
計	1,104,800	2,340,479
	収支差（経費）	1,235,679

尚、記念誌の販売を行う。単価 500 円、送料振込料 200 円とする。

名簿は単価 5000 円で販売する。

開学 20 周年記念誌の在庫があるので希望者には着払いで発送する。

いずれも HP、会報で周知する。

10 周年記念行事実行委員会は 3 月末日で解散した。

2) 活動報告、決算報告および活動計画、予算

1) 平成 28 年度湖風会決算

収入 ; 6,197,130 円、支出 ; 6,001,669 円、次年度繰越金 ; 11,518,450 円

ロ) 平成 29 年度活動計画および予算案

年間の行事予定が決定している。6 月 24 日に通常総会を開催する。

予算案は、

収入 ; 6,500,000 円、支出 ; 8,830,000 円、次年度繰越金 ; 9,238,450 円

会報 6 号の発行費用に、2,650,000 円を見込む。

3) 支部活動助成金について

現在会則（支部細則）に、「支部に対し、役員会、総会、部会に係わる会場費、通信費、資料作成費、お茶代を対象として交付する」とある。

講演講師の謝礼などの要望もある。その他のも課題について、5 月の総務委員会で検討する。

4) その他

イ) 会則を一部改訂し、所定の条件を満たす同好会には助成金を交付するようにしたが、周知されていない。機会をとらえて PR する。

ロ) 評議員更新マニュアルを作成し、2 年間レスポンスが無かった評議員には、辞退するか、続けるか問う様にした。今回 227 名に葉書を出し継続就任 159 名（返信の無い方は継続と見做す）、辞退 66 名で 684 名の評議員となった。

同様に役員更新マニュアルも作成した。本当に動ける人を発掘するという考え方にした。次期会長については学部毎の持ち回りとし人間文化学部からという方向で考えている。

ハ) 生涯メールサービスについて

大学と卒業生の直接の情報交換などを目的として H29 年度から運用することになった。対象は、H28 年度以降の大学卒業・修了者全員、及び H27 年度以前の大学・短大・農業短大卒業・修了者の希望者とする。

湖風会に依頼されていることは、希望者を募ること、同窓生であることの確認作業である。HP 及び会報で PR する。事業は名簿管理委員会が主体となる。

5) 名簿管理委員会の報告

H28 年度は 3 回委員会を開催している。名簿発行に関する業務が主体である。

イ) 名簿記載拒否者のデータの取り扱いについて検討し、決定した。

ロ) H29 年度の活動計画としては、

- ・年度末のデータのまとめ
- ・卒業生の就職先と人数のデータが大学から提供されるのでその整理。
名簿管理システムの情報ポケット数を増やすシステム改定を予算化し実施する。
- ・住所不明者 4326 名のデータ追跡。
- ・卒業時に葉書を渡し、就職先、その住所などを記入し返送してもらう様になっているが、その回収率向上策の検討。
- ・転職など名簿データの変更点の把握方策の検討。

松下 恭明副会長の意見

- ・学友会の事業として継続されている会社訪問は、学生一同窓生一大学の連携が取れる良い事業であると評価している。大学のクラブのOB会がいくつかあるがこれらも同じような連携が取れるので湖風会としても支援していきたい。
- ・予算の使い方も、組織の維持、会員へのフィードバック、学生へのフィードバックなどのバランスをどうとっていくかも課題である。また、繰越金を食いつぶしている現状から考えると入りを図ることも考えなければならない。

6) 湖風会 HP 小委員会の報告・・・国領副会長

3月6日に開催。

1) 湖風会館建設資金調達事業は3月末をもって終了した。

一次・二次募金額；15,817千円、建設費用；48,968千円、不足額；38,151千円

2) トップページにロゴマークを入れるが、「湖風会」の字体を黒金文体とし、ナックウェブにデザインを依頼する。

3) 東海支部と人間文化学部支部がHPを立ち上げる準備を進めている。H29年4月開設予定。

7) 彦根会談について

1) 松下恭明副会長から打診を受けていた、学友会から県大卒の役員の推薦をして欲しいとの依頼について、検討したが現状では対応が困難であり推薦は見送るということで了解を得る。

2) 現状学友会代表として、松下代表理事が役員として就任しているが、諸般の事情で現実対応が無理なので、長谷理事と交代したい旨湖風会に申請することを理事会として承認した。また併せて若林理事に補佐をしてもらうことも申請する。事務局で手続きを行う。

3) 理事の職掌で、奥副会長に連携推進チームを兼任してもらう。

小谷口理事の職掌を連携推進チームから活動支援チームに変更することが承認された。

④ 県大工学部の活動支援について・・・<活動支援チーム>立入りだ

a) 工学部長が南川教授に代わられたので、4月7日(金)立入会長、国領・奥副会長および安田特別理事で表敬訪問をし、挨拶した。

b) 会社訪問について

訪問先；高橋金属(株) - 長浜市

日時；7月6日14:00～

窓口；技術開発部長 西村 清司氏 (S50M卒)

訪問者；学友会役員、学生65名前後、湖風会から就職支援の植田氏も参加予定。

会社業務内容は、HP <http://www.takahasi-k.co.jp/> を参照ください。

⑤ 同好会活動について・・・各世話役

a) ゴルフ同好会・・・立入世話役

H29年度は、6月10日(土)にコンペを開催する予定である。10名は確保したい。

b) ウォーキング&小旅行・・・国領世話役

H29年度は、5月20日(土)に開催予定である。

「伏見ぶらり街歩き」として、桃山御陵駅 → 黄桜カッパカントリー → 寺田屋 → 月の蔵人(昼食) → 十石舟で遊覧(1h) → 伏見夢百衆 → 御香宮神社のコース。詳細は案内済で25名程度の参加予定である。

c) フォト同好会・・・山添世話役

大阪市内の心斎橋、道頓堀などの街中撮影、その後写真展見学で計画をしたい。

次回理事会には、詳細計画を発表する予定である。世話役に谷川理事を追加する。

d) カラオケ愛好会・・・内片世話役

H29年度は、12月理事会後にパナソニックリゾート大阪で開催予定である。

⑥ 事務局

- a) H28 年度「工学部学友会」会計報告を藤田担当理事から、監査報告を谷川担当理事から報告され、理事会として承認された。
- b) H29 年度湖風会支部活動助成金は、10 万円で申請している。
- c) 理事会用プロジェクトについて、購入か、会議場での借用などを検討していたが、安田特別理事が携帯可能な軽量なものがあるので持ってくる申し出があり、好意に甘えるとした。尚、安田特別理事が参加できないときは、若林理事か大学に近い理事が借用に行くとする。
- d) 6 月度の理事会は、ピアザ淡海で開催予定である。会議案内に地図を添付するので、宜しくご参集下さい。尚、JR 南草津駅直結の草津市立交流プラザの検討もしている。状況により 10 月からの理事会は、そちらになるかも知れません。



次回、第 34 回理事会開催予定

日 時；平成 29 年 6 月 18 日（日）13：00～

場 所；ピアザ淡海（滋賀県立交流市民センター）

議 題；別途案内します

以上。